

いえ
家でもチャレンジ!! 「わくわくワーク」

そめもの
「やさいで染物にチャレンジ」



ざいりょう
材料

- ①タマネギのかわ (3個分)
- ②白い布 (綿のものがよい)、または耐水性のキッチンペーパー
- ③お湯 コップ1ぱい
- ④わりばし
- ⑤わごむ 3本くらい



※あれば、焼きミョウバン大さじ3はいをお湯500mL にとかした液をばいせん液として使う

つく かた
作り方

- ① コップ1ぱいのお湯の中に、タマネギの皮をたっぷり入れる。(めやすは、タマネギ3個分くらい)わりばしで、タマネギの皮の色素をお湯におしだす。

※お湯をつかうので注意しよう。

- ② 白い布、または、耐水性のキッチンペーパーを右の写真のように、わごむできつくしばる。

(わごむでしばったところが、染まらないので白い模様のように残る。)

- ③ 下の写真のように、わごむで3か所くらいしばったものを①のタマネギの色素の液につける。このとき、わりばしでよくおしてもみこむ。



④ 15分くらいつけておいたら、とりだす。



⑤ わごむを切って、ひろげたら、できあがり。

どんな白いもようができるかな。
ひろげてみてのおたのしみ。



このように、わごむなどでしばって染める染め方を「しぼり染め」といいます。

できあがり

染めた色が水であらっても落ちないようにするには？！

お湯500mL に大さじ3ばいのミョウバンをとかして、ばいせん液をつくる。

タマネギで染めた布をこのばいせん液に15分程度つけたら、水洗いしても染めた色が落ちにくくなります。



「ばいせん」ってなんだろう？

植物の色素（色）は、金属となかよくくっつきあうという性質をもっています。染める布上で、色素と金属がなかよくくっつきあうと染まる色が落ちにくくなるのです。この性質を利用して、布に金属の成分をくっつけて効果を出すことを「ばいせん」といいます。

ばいせん液には、ここで紹介した焼きミョウバンをつかった「アルミニウムばいせん液」、さびた鉄くぎと酢と水（鉄：酢：水の質量比＝1：1：1）からつくる「鉄ばいせん液」などがあります。